

公立小中高の学習費は学年と費目でどう変わるか

対象：文部科学省・令和5年度子供の学習費調査（2026年1月16日訂正版）

公開日：2026-09-01

結論

学習費の負担は『入学時に高く、その後は下がる』という一方向ではありません。学校教育費が高い学年と学校外活動費が高い学年が別の学年にあり、正負の変化が総額で相殺されます。会議や事業企画では、校種・公私・学年・費目を固定し、利用率や所得など次の分母を追加して判断する必要があります。

446,096円 公立中3・学校外活動費	+60.3% 公立中1から中3の増加率	+63.5% 公立高1から高3の増加率
-------------------------	------------------------	------------------------

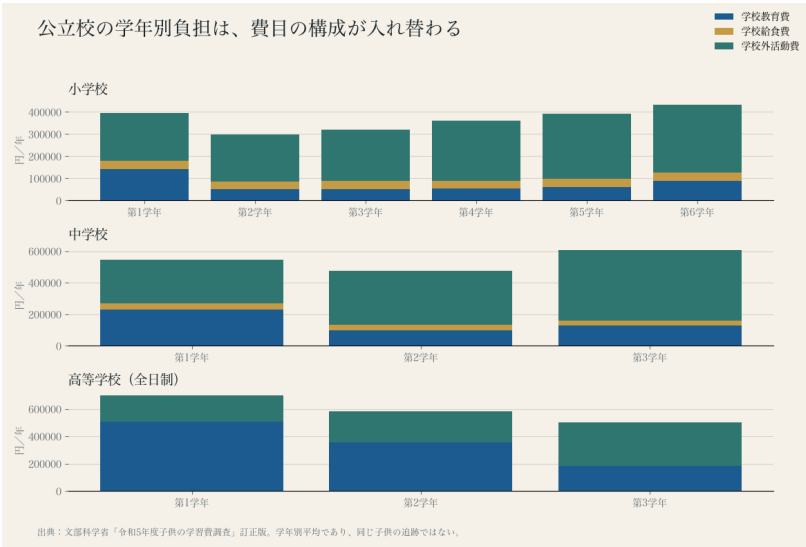


図 図1 | 公立校の学年別費目構成。入学年の学校教育費と、後半学年の学校外活動費を同じ総額の中で分けます。

分かったこと

- 公立中3の学校外活動費は44万6,096円：第1学年27万8,315円から60.3%増えます。
- 公立高は、総額が下がっても学校外活動費は増える：総額は第1学年70万240円から第3学年50万3,697円へ低下します。
- 公立小も、学校外活動費は21万6,850円から…：第1学年の総額39万5,394円には入学時の学校教育費が含まれ、第2学年は29万7,710円へ下がります。

限界

- 同じ子供を追跡した縦断データではなく、学年集団の横断平均です。
- 所得、地域、進路希望、参加の有無を統制していません。
- 標準誤差の範囲は原表にありますが、個別セルの信頼区間は再構成していません。

次のデータ

地域規模と所得帯を学年別費目へ接続し、支出率・支出者平均・無支出世帯を区別できる範囲を確認しています。

出典

文部科学省：子供の学習費調査・結果一覧／文部科学省：令和5年度結果・2026年1月16日訂正／文部科学省：訂正情報